

実感空間モニターネットアンケート 「ドライブに関するアンケート」集計結果・ダイジェスト版

■ 今回の調査について

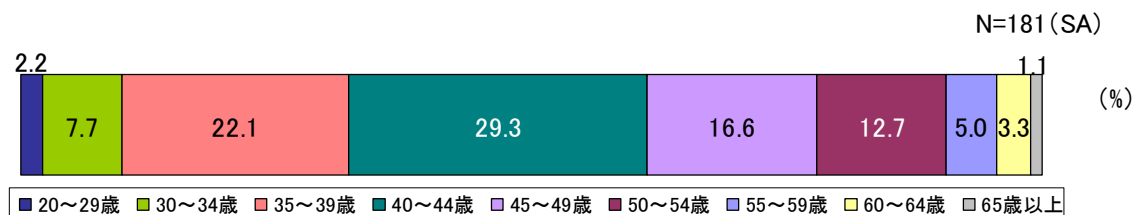
昨年は原油の高騰により、ガソリン高が家計を直撃するといった事態が起こり、健康志向や環境意識も加わって、「車離れ」といった現象が見られました。しかし、今年の3月末に、ETCを搭載している車に限り、地方圏の高速道路の利用上限額が1000円という制度が導入されて、ドライブ事情は少し活気を取り戻したようです。社会情勢が移り変わる中、皆さんはどのように車を利用しているのでしょうか。最近の事情を尋ねてみました。

■ 調査概要

【調査概要】

調査方法 アイ・キューブ実感空間モニターへのネットアンケート
調査期間 2009年12月9日(水)～12月14日(月)
サンプル数 女性 181名
対象者属性

■ 年齢別構成比



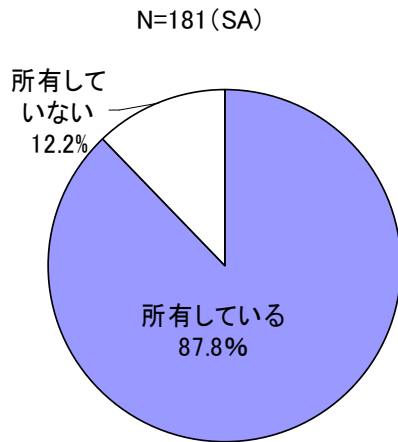
■ 総評

「維持費がかかるから車を手放しました」という人もいましたが、車の所有率は9割弱と、随分高いことがわかりました。免許証も9割近くの方が保有していましたが、全体の4人に1人はペーパードライバーのようです。車を毎日のように利用している人は3割弱で、週に1回以上利用している人は6割弱いました。利用目的として買い物を挙げた人が9割近くいることから、週に1～2度、車でショッピングをするというスタイルが定着しているのかもしれませんが。

2～3年前と現在の利用頻度を比較した場合、「特に変わっていない」という人が半数近くを占めました。ライフスタイルに変化が無いことが大きな理由のようです。「利用が増えた人」は4人に1人、「利用が減った人」も4人に1人いました。親の介護や引っ越しが理由で増えた人や、健康のために徒歩や自転車を利用するようになったという人もいましたが、利用頻度の増減は子どもの誕生や成長と最も大きく関わっているということが明らかになりました。

これまでドライブをしてきた中で、楽しかったことや困ったことについても尋ねてみました。楽しかったこととして、車中という特別な空間の中で、いつもとは違う会話に花が咲いたり、音楽や映像を楽しんだりすることを挙げる人が多くいました。一方、困ったこととしては、ほとんどの人が渋滞時のトイレを挙げていました。高速道路が値下がりし、車でドライブをする金銭的ハードルが下がったとしても、この点が解消されない限り、安心してドライブを楽しむことができないのかもしれません。

■車の所有状況

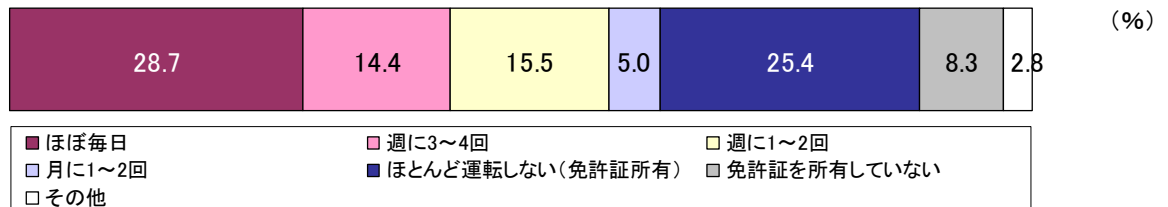


◇車の所有率は9割弱。

内閣府が2009年9月に発表した、「歩いて暮らせるまちづくりに関する世論調査」では、自動車の所有割合は75.7%という結果でしたが、今回の調査では87.8%に上りました。最近、「車離れ」や「カーシェアリング(登録をしている会員間で車を共同使用するサービスやシステム)の増加」がよく話題になりますが、車の所有率はまだまだ高いようです。

■車の運転頻度

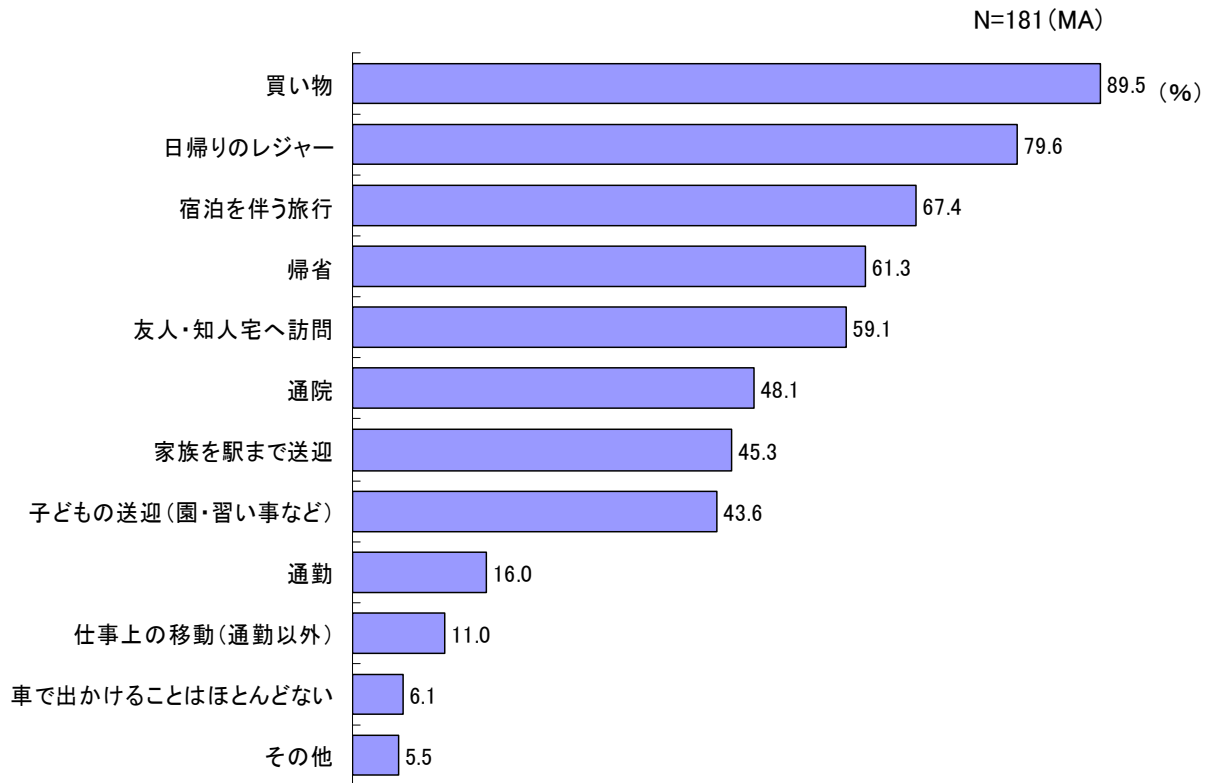
N=181 (SA)



◇1週間の内1回でも車を運転する人は、6割弱。4人に1人はペーパードライバー。

毎日のように運転している人は28.7%で、日常生活において車での移動が定着しているようです。また、週に3~4回の人や(14.4%)、週に1~2回の人(15.5%)も合わせると、6割近く(58.6%)の人が、週に1回以上、車の運転をしていることが分かりました。一方で、車の免許証を持っていないながらも、ほとんど運転しない人は25.4%で、4人に1人いるようです。

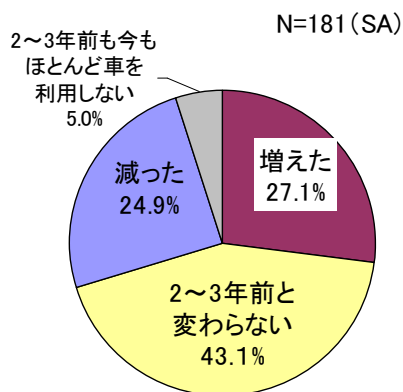
■車を利用する目的



◇買い物での利用が9割でトップ。

日帰りのレジャー(79.8%)や宿泊を伴う旅行(67.4%)や帰省(61.3%)で車を利用する人も多いようですが、日常生活では「買い物での利用」が最も多く9割(89.5%)でした。ロードサイド店や大型のショッピングセンターなど、広い駐車場のある商業施設に車で出かけるケースが多いと考えられます。

■運転する機会の増減 (2~3年前と比較して)



◇運転の頻度に変化があった人と、なかった人は半々。

車の利用頻度は、その時々你的生活スタイルや社会環境と密接な関わりがあるものと考えられます。2~3年前という短いスパンの比較ながらも、増えた人が27.1%、減った人が24.9%と、変化のあった人が半数強いました。

そこで、それぞれの理由について尋ねてみたところ、次ページのような回答が得られました。

■運転する機会の増減理由(2~3年前と比較して)

車の利用頻度は、「引っ越しに伴う生活環境の変化」もさることながら、「子どもの成長過程(誕生→成長→独立)や、親の介護といったライフスタイルの変化」に大きく左右されることがわかりました。また、健康・環境保全・節約のためにあえて車中心の生活を返上し、自転車や徒歩に切り替えている人も少なくないようです。全般に車による遠出が減っている中、今年導入された「ETCによる高速道路の割引制度」を上手く活用している人もいました。

◇【増えた理由】 出産、子どもの成長に伴う送迎、引っ越し、高速道路の休日割引、介護など。

- ・子供が1歳なので、保育園の送迎、病院への送迎が増えた。また働いているため、週末に車でまとめ買いをしている。まだ遠出をする回数はそんなに多くなく、実家に帰るぐらいだが、荷物が増えたために、車を利用することが多い。(40代前半)
- ・子どもの成長につれて、おけいこ・スポーツの試合などで遠くまで送迎する機会が増えたため。(40代後半)
- ・マンションから一戸建てに転居し、生活施設が少し遠くなった。駅からも遠くなったので、夫の送迎頻度が増えた。子どもが成長して、休日の行動範囲が広くなり、レジャーやショッピングなどに出かけることが多くなった。また、友達と約束して遊ぶようになり、交友範囲が広がるに連れ、送迎の機会が増えた。(40代前半)
- ・ETCの休日1000円割引が導入されてから、頻繁に日帰りや1~2泊の旅行に行くようになった。また祖母のいる徳島も高速バスで行っていたが、車で行くようになった。(30代後半)
- ・2年前にハイブリッド車に買い換えたので、気軽に乗るようになった。親達の高齢化で、用事や病院などの送迎が増えた。(40代後半)

◇【減った理由】 子どもの更なる成長・独立、環境や健康のために徒歩や自転車に転向など。

- ・子供が中学生になり、習い事の送迎がなくなったことと、家族で一緒に外出する機会が減ったため。(40代前半)
- ・健康のために、なるべく歩くようにしていて、そのために、以前は車でかけていた場所にも、電車+徒歩で行くようになったため。(40代前半)
- ・主人が車通勤でほぼ毎日車を利用していたが、半年ほど前から自転車通勤に変えたため。(40代後半)
- ・環境を考慮して。一時ガソリンが高騰したので。駐車場探しや、渋滞での時間のロス・ストレスなどで、運転がしんどくなってきたから。(40代前半)
- ・子供が独立し、買うものの量が減ったため、必然的に買い物に行く回数が減った。(50代前半)
- ・年齢と共にだんだん億劫になってきた。(60代後半)

◇【変わらない理由】 生活スタイルが変わらない。

- ・自宅近辺の交通事情、ライフスタイルにも大きな変化はないので。(50代後半)
- ・以前から必要最低限の車利用にしている。その姿勢は変わっていない。(40代後半)
- ・利用するシチュエーションは、ほぼ変わらないが、不景気で遠出をする回数は減った。(30代後半)
- ・ガソリン代が高かった頃、一時期、車の利用が減った。しかし、家族全員分の電車賃を考えると、やはり車の方がトータル的に安くなるので元の利用回数に戻ってきた。(30代前半)

◇【今も2~3年前も車を利用しない理由】 車・免許がない、公共交通機関を利用。

- ・私自身、車の免許がないのに加え、4年前に結婚した夫も免許を持っていないので。(30代前半)
- ・維持費がかかるから車を手放した。(50代前半)
- ・都心に住んでいるので、交通の便がよく、車を利用することを考えなくても生活ができるから。(50代前半)
- ・車生活を考えていないので、電車、バス等と自転車、歩きを中心に生活しているから(60代前半)

■ドライブの車内で楽しかったこと・困ったこと

車内では、家族で音楽を聴いたり、歌ったり、テレビを観たり、コミュニケーションを楽しんだり、美味しいものを食べたり、美しい景色に共感したり・・・と、家の中とはまたちょっと違う空気が流れるようです。とても楽しそうな様子が伝わってきました。一方、困ったこととしては、渋滞時のトイレ、特にお子様のトイレについて多数挙がっていました。時には、狭い空間で身動きが取りにくいといった事情から、不便な思いやイライラ感も積もるようです。

◇【楽しかったこと】 音楽を聴いたり、歌ったり、会話を楽しんだり。食事をするのも楽しい。

- ・皆でわいわいしゃべりながら、楽しく出かけられる。歌も歌えて、カラオケさながら盛り上がる。(30代前半)
- ・学校での出来事や友達のことなどなかなか聞かないようなことを車内だとじっくり話し合える。また、算数や歴史の問題を出し合ったりして盛り上がる時もある。(40代前半)
- ・今まで旅行といえば、飛行機で遠くに行くことが多かったが、最近は割引も相まって、改めて近畿県内や中国地方など、近場を観光する機会が増えた。日本の良さを再確認できて良かったと思う。(30代後半)
- ・2年前にカーナビを付けた。テレビも見れるので、渋滞の時にDVDやゴルフ放送を夫と見ていると渋滞の際のイライラ感が無くなった。渋滞がひどい時は、近くのSAに車を止め、テレビを見て待ったりもする。(40代前半)
- ・ワンボックスタイプなので、帰省時に子供とごころ寝転んで遊んだり、車中で向かい合わせで食事を一緒に取ったりしたこと。(40代前半)
- ・カーナビをつけたので、遠くに行くのも不安がなくなった。知っているところもカーナビに検索させ、「そこじゃないでしょう!」と時々突っ込みながら目的地に向かう。(40代後半)
- ・子供が寝付かないとき、車に乗せるとすぐに寝てくれた。(50代後半)
- ・出発が朝早いときは、朝ごはんをもって車に乗る。朝ごはんを車で食べると、「お出かけ」という感じがしてワクワクする。(20代後半)

◇【困ったこと】 渋滞時のトイレ、車酔い(嘔吐)、家族のイライラ感、運転手への気遣い、他。

- ・困ったことといえば、やはり子供のトイレ。旅行中にトイレに行きたくなり、サービスエリアに入ったが入口から大渋滞。簡易トイレもおむつでのトイレも嫌がり、猛ダッシュでトイレに駆け込んだ。(30代後半)
- ・長男が小さい頃は車酔いが激しくて、よく吐いたので掃除に困りました。シートもマットも布製で、拭くだけではニオイがとれずに悲惨な日々が続きました。(30代後半)
- ・兄弟喧嘩が始まると、みんなが不愉快になる。狭い空間なので、頻繁に起こる。(40代前半)
- ・道が混んでいると夫の機嫌がきまって悪くなるのが困ります。(40代後半)
- ・とても綺麗な景色に出会った時、運転している主人だけが観る事が出来ないので、申し訳なく思う。(40代前半)
- ・ペットを乗せた場合、天気の良い日は直射日光が当たって暑い思いをさせることがよくある。(50代前半)
- ・先日、子どもがシートベルトを嫌がり(眠くなると我慢のレベルが下がるので)、寝かしつけるまでグズつかれ、あやすのに疲労困憊した。(40代前半)
- ・車内は狭いのでくつろいだ姿勢になれないので、足がむくんだり、長時間だと疲れる(30代後半)
- ・子供のお菓子の食べこぼしが大変・・・。(30代後半)
- ・夫と音楽の趣味が違うことで、私が運転中に暗い演歌を流されるのが辛いです。(50代前半)
- ・子供が寝たときなど、一緒に寝たいが、主人が運転しているために気を使って寝れない。(40代前半)
- ・社内が狭いので、子供のオムツを替え辛くて不便。(30代前半)
- ・主人が運転してくれているときは、子供とペットの面倒が見れるが、自分が運転しているとできない。(40代前半)
- ・誰かと乗ると、一人で乗っているより楽しいが、助手席の人が免許を持っている人だと、横から口をはさまれて自分の好きに運転ができないので少し困る。(20代前半)
- ・夏に出かけるときに、前方と後方のエアコンの効き方が違う。(50代前半)